

学校法人カリタス聖母学園

令和4年度 事業計画

1. 教育方針

学校法人カリタス聖母学園は、カトリックの精神に基づき、幼児一人ひとりが、神様から造られたかけがえのない存在として自分自身と周りの人を愛することができるよう徳育（心の教育）、知育、体育の調和の取れた教育を目指します。また、ドンボスコの予防教育法によって人格形成の基礎教育を行うことを使命としています。

2. 幼児教育を取り巻く環境の変化

- 1) 2019年10月1日付け「幼児教育の無償化」は、幼児教育の負担軽減だけではなく、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性の観点からも取り組むものです。従って、幼稚園に対して、より質の高い教育が求められることとなっています。
- 2) 改正「私立学校法」（施行：2020年4月1日）は、私立学校の教育の質の向上とともに、法人として事業計画の策定、監事・理事等の職務の強化など、管理運営制度の改善と運営の透明性の確保を図ることとします。
- 3) 健康で活性化され生産性の高い職場を作り、職員がワーク・ライフ・バランスを充実させることを強化する目的で、2019年4月より、改正労働基準法が施行された。本法人は、2022年4月1日より就業規則が改訂されることから労働環境の見直しと労働時間を客観的かつ適正に把握するとともに、業務改善を行う必要があります。

3. カリタス聖母学園の基本的な方向性と重要課題

- 1) 「幼児教育の無償化」に伴う「質の高い幼児教育」の具現化
各幼稚園のビジョン・ミッションに基づいて、幼稚園の実情に合わせたより質の高いカトリック教育の実現を目指し、モンテッソーリ教育等管理者・教員研修の充実と同教材の拡充、預り保育、未就園児の充実、教職員の確保等につとめます。
- 2) 法人独自の Web ページを開設
各幼稚園の教育活動や行事等の新しい情報を常に発信し、園児募集、教職員の採用に活用していきます。各幼稚園の情報発信や園児募集を鼓舞し、園の取り組みに対して学園として評価を行います。
- 3) 学園全体の IT 管理状況を標準化
学園として（メルアドの統一、ファイルの共有化、セキュリティ対策、Wi-Fi 環境整備、PC およびタブレットの導入、規定整備等）を整えていきます。

I. 2022年度 事業計画概要

当学園は法人理事会のガバナンス強化とともに内部統制の仕組みを整える事を課題として取り組んでいる途上にあります。法人運営としては、2021年度より幼稚園法人に特化した公認会計士事務所との契約により、より細かい指導のもとで法人全体の会計運営について改善を行っていきます。更に2022年度より全施設に会計ソフトを導入し、法人事務局に集中していた業務を分散し、通常の会計業務は各園の事務が行うことができるようになりました。各園の経理全般については業務委託契約によって適切なサポートを受け、安心して業務を行うことができるよう事務員の養成を行います。

また、公共性の高い学校法人として、法令遵守、危機管理体制の向上、園児管理の ICT 化に向けて取り組み、社会の変化や要請に応え、「信頼され、選ばれる幼稚園」となるよう事業を推進していきます。

II. 新規事業

1. 学園全体

(1) 学園の Web ページの開設

- ・学校法人のホームページを開設し、各幼稚園のホームページを移管する予定です。
- ・各幼稚園のアドレスも順次 caritasseibo.ed.jp に統一します。

(2) 会計ソフト導入・経理全般の業務委託及び業務サポート

- ・会計ソフト導入にあたっては、法人本部が最初に行いシステムに慣れるようします。その後、順次各幼稚園の導入を開始します。

2. 施設・設備

(1) カラー複合機購入（リース契約）

3. 教育・研究

(1) IT 管理者養成

- ・ICTシステムの導入によってIT管理者の養成や学園のIT利用規定の整備が必要です。数年かけて体制を整えていきますが、幼稚園職員のレベルに合わせた研修を行うことによって共通理解を深め、管理者には専門的知識をもつよう研修を続けていきます。

(2) 各幼稚園ビジョン・ミッション、中期活動計画の見直しと評価

- ・幼稚園のビジョン・ミッション、3年間の中期的な計画を見直し、評価に基づいた具体的な活動計画を作成していきます。

Ⅲ. 継続事業

1. 教育

(1) 学園教職員研修

- ・学園全体の職員養成のため、新任・中堅・主任・管理職など職種別研修の機会を設けていきます。特に会計ソフトの導入により会計処理に対する事務職員の実務研修を継続します。

2. 施設・設備

(1) 園児管理システム「コミュなび」の導入と IT 環境の整備

- ・2021 年度導入したサンシティ聖母幼稚園の実態報告に基づき、各幼稚園への導入をすすめていきます。
- ・各幼稚園の Wi-Fi 環境や PC 及びタブレットの購入にあたってアドバイスをを行い PC の実質的な設定については法人が行う標準化をはかります。

3. その他

(1) 自己点検活動

- ・2021 年度より開始した自己点検制度によって、各幼稚園の適切な会計処理のため教職員でチェック体制を整えてきました。2022 年度も担当職員を変更し、自己点検を継続して行うよう法人として注視します。

(2) 学園規程整備

- ・学園内の諸規程の見直しを行い、実態に即していないものを改正します。同時に職員に対して周知・徹底を行い、制度の運用に努めます。

以上

I 2022年度の事業の概要

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を視野に入れ、保育の現場では、日々の保育の積み重ねが「10の姿」につながる意識を持ち、幼児教育の質を高めるために時代の変化を的確につかみ取り、状況に応じた展開をし、個々の教員が自ら課題をもって主体的に研修するよう取り組みます。

新型コロナウイルス感染症状況を注視し、引き続き園児をはじめ教職員の安全・安心を心掛けながら、可能な限りこれまでの内容を基本としながらも臨機応変に対応するように努めます。

2022年度の主な新規事業は次の通りです。

1. 満3歳児クラス開始
2. 満3歳児クラス環境整備
3. コミュなび本格開始
4. Wi-Fi環境整備
5. トイレ配管取り換え工事
6. 暖房便座への交換
7. 消防用設備熱感知器交換
8. 課外教室の増加

II 新規事業

（1）満3歳児クラス開始

令和4年度より満3歳児クラスを開始。クラス名は「もも組」とします。

令和3年度より募集をかけ15名定員中13名入園手続き済み。満3歳のお誕生日を迎えた次の月からの入園となるため、5月6日（金）からのスタートとなる。5月は2名で始まるが、月ごとに園児が増えていく。同じ年齢に当るかおり教室とも連携を取りながら保育を進めていきます。

（2）満3歳児クラス環境整備

満3歳児クラスは初めてのクラスの為、クラスプレートや午睡のための敷物・おもちゃ等準備を行い、他園の運営を参考にさせていただきながら4月中に環境を整えていきます。

（3）コミュなび本格開始

令和3年12月よりお試しで行ってきた「コミュなび」（園児管理システム）。全園児の登録も済み、出欠や預かり保育の申請・メールでの連絡・園だより等の掲載、「バスなび」での運行・ICカードでの打刻も順調に行われている現状である。令和4年度からは、「精算なび」とペーパーレスを考え、お便り等の掲載を行う事と保育日誌・月案・週案・幼児指導要録等も手書きからパソコンやタブレット入力に移行していきます。

（4）Wi-Fi環境整備

「コミュなび」導入に伴い、クラスにタブレットを購入し出欠等の確認を行うためWi-Fiを使用しているが、どうしても電波が届かないクラスがあるため電波が行き届き不具合が生じ

ないよう環境を整えるようにしたい。又Wi-Fi整備と共に配線の整理も行えるようにします。

(5) トイレ配管取替工事

現在、2階トイレ大人用2か所、子ども用2か所・多目的トイレが使用禁止となっている。2階の職員は1階トイレを使用している現状があるため、早急に改善が必要である。調査の結果、鉄管が腐食し突起等ができたために、詰まりの原因となっており、腐食が激しい為、取り換える必要があるとのこと。大掛かりな工事になるため夏休みを利用して配管取替工事を行います。

(6) 暖房便座への交換

冬場に今までは取替え式の便座マットを使用していたが、近年コロナウイルス感染症による感染の懸念や衛生面等を考慮し、暖房便座へ交換します。電気工事を夏休み中に配管工事と共にを行い、その後冬場に向けて暖房便座への交換をします。

(7) 消防用設備熱感知器交換

消防用設備等点検の際に、熱感知器が旧型で設置特例期限が1997年10月までで期限が過ぎているとの指摘があり法的上交換の必要が生じた。失効品と交換推奨品とがあるため、令和4年度は失効品のみを交換します。

(8) 課外教室の増加

保護者のアンケートに、課外教室の種類を増やしてほしいとの意見があり、園児募集の一環としても良い影響を与えるのではないかと考え、令和4年度の途中か令和5年度には新たな課外活動を増やしていきたいと思う。

Ⅲ 継続事業

(1) 新型コロナウイルス感染症予防対策の継続

マスク着用・手洗い・うがい・消毒・空気清浄機使用等、日々の取り組みや感染者確認後の対応なども含め継続していきます。

(2) 子育て支援事業（かおり教室）

満3歳児クラスに入園する子どもたちもかおり教室を利用し、数人ずつ抜けていくため、引き続き入会者の募集・確保に努めます。

(3) 園庭開放

園庭開放を楽しみにしている方がいらっしゃるため、引き続き園庭開放日を設けてお知らせし、園児募集に繋がるように努めます。

(4) 預かり保育事業

長期休みの際に、働く親を中心により利用しやすいよう、臨機応変に対応するよう取り組みます。

(5) 社会奉仕

今後の新型コロナウイルス感染症の影響で老人ホーム慰問や感謝巡り等実施できるかは不確かだが、おにぎり献金や七五三献金、クリスマス献金などを通して、又、エコキャップや歯ブラシのリサイクルにより社会奉仕に努めます。

I 2022年度 事業計画の概要

（1）2022年度も新幼稚園教育要領に基づき、園児が自分の良さや可能性をさらに認識し、他者に対しても尊重する心を大切にしながら、よりよい社会性を身に付けつけるために、生きる力の基礎を育ていけるよう努めます。

また学校法人カリタス聖母学園として、カトリックの精神に基づき幼児一人ひとりが神様から創られたかけがえのない存在として、引き続きドンボスコの予防教育法と心の教育を重視していきます。職員はこの目標達成のため、2022年度は専門的技術の向上のために積極的に研修会に参加するなど、職員自身の人格の円熟のために努めます。

（2）平成24年度に開始された大村聖母保育事業ですが、満3歳からの保育料無償化となり、定員に満たない厳しい運営状況が続いているため、また今後も需要が伸びる見込みがないため、現在在籍している保育事業の園児が入園する8月をもって終了（閉園）する予定です。

II 新規事業

1. 施設・設備

（1）幼稚園保育室1階・2階の窓のパッキン修理と網戸張替え

- ・建物の経年劣化に伴い、窓のパッキンが割れて窓に隙間が空き、風が入ってくるが、調査の結果パッキンの劣化がひどく交換が不可能のため、補修のために他の方法を検討中。
- ・網戸が劣化しているため、破れている箇所が多いので張替えを行います。

見積予算 網戸張替え 123,420円 株式会社シンコー

（2）物品購入

教育消耗品

園児の環境設定の充実のために

- ・各クラスのブロックが劣化しているため、全クラス分購入予定
- ・モンテッソーリ教育の充実のため、お仕事用の絨毯が劣化しているため、購入予定
- ・預かり保育室1階の靴箱の木片などが剥がれているため、購入予定。

III 継続事業

（1）モンテッソーリ教育

コロナ禍のため、引き続き園内研修を継続。教室内の環境設定の充実を図る。

（2）子育て支援(バンビ組)

令和4年8月で保育事業が終了するので、9月からバンビ組(子育て支援)を園児募集のための内容で充実させる。親子で登園する日、幼児だけ登園する日を設定する予定。

（3）園行事の見直し

- ・令和4年度もコロナ感染状況が収まる様子が見込めないため、年長行事のお泊り保育は日帰りの体験保育（日頃経験できないことを計画する）また、お別れ遠足は秋に行います。
- ・ファミリーデーは、春の遠足を兼ねて親子遠足とします。

- ・誕生会・聖母祭・七五三祝い・クリスマス会などの宗教行事の充実
- ・いのちの教育の推進のため、花や野菜の苗植え、芋ほり・みかん狩りなどの体験を行う
- ・コロナ禍でも人数を制限や、時間配分の配慮をしながら、保育参観などの保護者参加行事を工夫する。

(4) 社会貢献

- ・勤労感謝・ ・日頃お世話になっている業者や園医の先生方、地元の警察官、消防署の方々に感謝を自分たちの作品を送るという形で表現し、私たちの生活は多くの方々の陰の力で成り立っていることに気付く。
- ・クリスマス献金・ ・世界には食べるものに困っている子どもたちがいることを知り、自らの献金によって救われる命があることを知る。

検討課題

1. ホームページの充実とともに、園の携帯電話をスマホに切り替え。
2. 「コミュなび」導入の検討およびWi-Fiの環境設定やタブレットの導入の検討
3. 職員の働き方改革（有休制度の計画的な活用を推進する）
4. 職員研修（法人主催のオンライン研修など）に参加する。

2022（令和4）年度 カトリック・カリタス幼稚園事業計画

I 2022年度 事業計画の概要

2023（令和5）年度に創立50周年を迎えます。2019年10月から幼児教育の無償化に伴って子どもに対するより充実した保育内容が求められています。保育環境を整えることを第1に考え、教職員の働く環境も整えながら、幼稚園全体のより良い充実を目指します。

また、新型コロナウイルス感染状況を注視し、園児をはじめ保護者、および教職員の安全・安心を心がけていきます。

2022（令和4）年度の主な新規事業は次の通りです。

- ・1階テラスの手洗い場改修工事
- ・テラス改修工事
- ・園庭のねむの木1本を伐採
- ・空気清浄機の購入
- ・一時預かりクラスの個人用棚の購入
- ・ひかり組エアコンの購入
- ・運動会用入退場門の購入

2022（令和4）年度の主な継続事業は次の通りです。

- ・園児及び教職員の安全・安心を守るための新型コロナウイルス感染防止対策を継続します
- ・子育て支援事業として未就児クラス（たんぽぽ教室）を継続し園児募集に繋がります。
- ・満2・3歳児のための一時預かり事業を継続し、園児確保に努めます。

II 新規事業

・施設・設備

(1) 1階テラス手洗い場の改修時工事

昨年、1・2階の手洗い場の改修工事を行いました。排水管が古い事もあり、今年度は1階のテラスの手洗い場の改修行為を行います。

(2) 園児通用口のコンクリート地面の改修工事

地面がコンクリートのため、転んだ時に危険性があるため改修工事をし、併せて障害児受け入れを可能にするためにスロープを設置します。

(3) ひかり組のエアコン取り換え

ひかり組のエアコンが古く、夏は18℃、冬は30℃にしないと室温が保てないため取り替えます。

(4) 各クラスに空気清浄機を設置

新型コロナウイルス感染防止、インフルエンザにも対応するため各クラスに設置します。

(5) 一時預かり保育事業のために個人の棚の設置

園児の増員によって個人用の棚が足りなくなったので、一時預かりに適した棚を設置し、現在の棚は園児用に使用します。

(6) 職員室に新しい机・いすの設置

常勤教諭職員の増員(2名)のために机・椅子が足りないので購入して職員室の環境を整えます。

・その他

(1) ねむの木の伐採と他の樹木の剪定

紫原教会との境にねむの木がありますが、この木の葉が教会の雨樋に詰まって、ご迷惑をかけていることが分かりましたので、伐採して迷惑のかからないようにします。

III 継続事業

1. 幼稚園全体

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策の継続

2020(令和2)年度より実行している感染防止対策を今年度も徹底させ、園医との連携を強化し、園児をはじめ保護者、教職員の安全安心に努めます。

(2) 子育て支援事業としての未就児クラス(たんぽぽ教室)の継続

地域の子育て支援事業としての役割を果たしながら、園児確保に繋がります。

(3) 一時預かり事業の継続

園児募集のために始めた本事業であるが、モンテッソーリ教育の充実とともに2歳児からの入園希望者増えてきました。教職員の配置を考えてさらなる充実に努めます。

2. 社会貢献

(1) 七五三・クリスマス献金

七五三とクリスマスの意味と世界には食べ物がなくて苦しんでいる子どもたちがいることを知り、毎月第1・3金曜日に行っているおにぎりの日を通して、命の尊さ、助

け合い心を養うようにします。

(2) **敬老の日、地域の老人ホーム慰問**

毎年9月の敬老の日の前後に3か所の老人ホームと地域の自治会の方々と触れ合い、お年寄りの尊敬と感謝を表し、お年寄りを大切にする心を育むようにします。

(3) **勤労感謝**

11月の勤労感謝ちなみ、いつもお世話になっている園医・歯科医・整形外科医と地域の交番、郵便局を訪問、また、園内では先生方に対して、毎日多くの人ののおかげで安心して過ごす事ができていることをわかり感謝する気持ちを育むようにします。

III 検討課題

(1) **LED照明改修工事**

新型コロナウイルスの影響によって機器が入ってこないため、工事が出来ない状況である。業者と連絡を取りながら、工事予定等を考えていきます。

(2) **「コミュなび」導入の検討及びスマホやタブレットの導入の検討**

現在使用しているメールソフトを「コミュなび」に切り替えていくように年度内に準備し移行していきたいと考えています。

2022（令和4）年度 名瀬聖母幼稚園事業計画

I 2022年度事業の概要

2020年度から2021年度の2年に及ぶコロナ禍で、計画しては実施を断念する保育や行事がありました。そのため、職員や保護者、子どもたちにまで、その心身に不安や心配など多くの負担が及んだのではないかと懸念しています。2022年度はコロナ禍であっても、士気を下げることなく保育を盛り立てていきたいと思えます。季節や雨天でも子どもたちが喜んで絵本や図鑑などを手に取り、図書室にて充実した時間を過ごせるように配置を検討します。更には、空調の設置により、健康的な環境の中で読書に親しみ、豊かな感性を養いたいと思えます。昨今、国外で戦争が勃発し、子どもたちの心にも少なからず影響を与えています。人と他者の命の守ることの尊さを知るとともに、人と人とのかかわりが延いては世界平和つながるという意義ある行為であることを、神様の存在を示しながら導いていきたいと思えます。幼稚園のビジョンのひとつである家庭や地域の方々との連携、交流を可能な限り実施して、地域に開かれ愛される幼稚園を目指したいと思えます。

II 新規事業

教育・研究・施設

(1) **新図書室空調取り付け工事**

2021年度の耐震工事において、舞台としていた部屋が、仕切りであった緞帳の部分が壁となったために、舞台として使用できなくなりました。そのため、昨年まで預かり教室兼図書室となっていたところを独立させて、舞台であった部屋を図書室としました。子どもたちが静かな環境で図書に親しむ環境は整いましたが、温暖な奄美の気候は暑い期間が長いため、空調の取り

付けが必要となりました。長い梅雨の期間も子どもたちが絵本や図鑑等に親しむ環境を提供し、豊かな感性にさらに磨きをかけていきたいと思ひます。

(2) 多目的職員用パソコン

社会の様々な取り組みがデジタル化され、保育の現場でもその必要に迫られています。

更にコロナ禍により、オンラインでの研修参加やインターネットでの保育資料の検索等の利用は不可欠となりました。今年度はいつでも多目的にインターネットやワード・パワーポイントを活用し保育の現場で子どもたちの育ちに働きかけることを目指します。

(3) 幼稚園外壁高圧洗浄工事

夏の台風の塩害や風雨・強い日差しによる影響で、園舎外壁は元の色であるアイボリーから茶色に変色しています。園舎は交通量の多い国道 58 号線沿いに建ち、瀬戸内方面から名瀬市街へ向かう車に乗る人は、この建物を幼稚園と認識する人は少ないでしょう。2021 年の耐震工事や教室床張り替え工事により、園舎内は清潔感を満たしていますが、外壁を見る限り、入園募集にも影響があるのでないかと懸念しています。今年度は昨年度に続き、安全と清潔感のある園舎を地域の方々と、国道を利用する方にアピールしたいと思ひます。

(2) 折りたたみ式ステージ

舞台として教室を使用できなくなりました。その代用として折りたたみ式のステージを活用したいと思ひます。小学校では個々の発表の機会も多いと思ひます。そのため卒園式や入園式のみならずステージに上がって様々な発表をする機会を作りたいと思ひます。それは同時に、自分の考えをはっきり伝えることを目指す子どものミッションの実現にもつながります。

Ⅲ 継続事業

教育・施設

(1) 鯉のぼり新調

鯉のぼりは子どもたちの成長を願うという、日本の伝統の一つでもあります。4 月になると広い園庭に鯉のぼりが元気よく泳ぐという光景は子どもたちのみならず、地域の方々にとっても恒例の楽しみになっています。しかし強風や強い日差しの影響で劣化も早いものです。現在使用しているものは、ほぼ使用不可能のものときれいでも小さく泳ぐという表現には乏しいものです。今年度は鯉のぼりを新調し、大きく言えば町の活性化にも貢献したいと思ひます。

(2) マーチング用楽器

現在使用しているマーチング用の楽器はかなり古いもので毎年修理をしながらの使用です。しかも太鼓は子どもにかなり重く練習を渋ることも多くあります。マーチングは年長組にとって心身の成長に大きく貢献するものではありませんが、近年子どもたちの体力の低下に伴い困難に感じています。今回新調させていただく楽器は軽量で子どもたちの負担を軽くするものと思ひます。

(3) モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教育の理論や提示を、リモートで受講することが可能になり、昨年は常勤のみならず、非常勤の教諭も園内研修に参加することが実現しました。今年度も同じ研修に参加することで、モンテッソーリ教育の内容を充実させていきたいと思ひます。

(4) 音楽指導

音楽を専門に指導できる講師を招き、楽器の使用の仕方、マーチングや和太鼓演奏について指導を受け職員の資質の向上に努めます。

(5) 宗教教育

A 人格形成と心の成長に宗教教育を取り入れ、神との関り、家族との関り、友達とのかかわりを深めていきたいと思います。

B ドンボスコ講座の機会を利用して予防的教育の共通理解を深めたいと思います。

また、テキストとして配布していただいた『ドンボスコの心で教えよう』は今年度も職員の分かち合いに活用したいと思います。

(6) 保護者との連携

子どもの活動や行事に欠かせない保護者との連携を大切にしたいと思います。コロナ禍で縮小を余儀なくされた行事も、感染の状況を確認しながら少しずつ通常に戻していきたいと思っています。

(7) 子育て支援

一時預かり保育は就労している保護者はもとより、自宅保育に困難な問題を抱えている保護者も利用し子育ての支援に役立っています。常に定員が満たされている状況で、担当職員の負担が大きくなるないように、園全体で援助していきたいと思います。

(8) 社会貢献

七五三献金・クリスマス献金を継続することにより、日本が恵まれた環境にあることを知る機会となる。特に恵まれない子どもたちへの思いやりが形となるように導く。

(9) 園児募集にかかる対策

ホームページのリニューアルにより、遠方の方にも幼稚園を知っていただく手段として、講師を招き新しいホームページ作りのための対策を学びます。

<検討課題>

(1) ICTの導入

「コミュなび」導入にあたり、スマホやタブレットの導入を検討し、システムの導入によって情報の共有化、保育の充実、事務作業のスリム化をはかりたいと思います。